

アンチ・アクション

関連イベント

2026

4/26 日 14:00-15:00 開場13:30-

荻野アンナ氏 講演会 KEN-Vi 文化セミナー
「母、江見絹子を語る」(仮題)

出演 | 荻野アンナ氏 (作家、神奈川近代文学館館長、慶應義塾大学名誉教授)

会場 | 兵庫県立美術館 KOBELCO ミュージアムホール
神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1 〒651-0073 (最寄駅: 阪神岩屋駅/JR 灘駅/阪急王子公園駅)

定員 | 150名 (先着順、要観覧券)

出品作家のひとり江見絹子は、明石市出身で、神戸で活動を始めた兵庫県ゆかりの美術家です。江見の長女で芥川賞受賞作家として知られる荻野アンナ氏を迎え、特別講演会を開催します。

江見 絹子(えみ・きぬこ)

1923年兵庫県明石市生まれ。40年に加古川高等学校を卒業後、洋画家の伊川寛に、45-49年には神戸市の洋画研究所に学ぶ。49年より行動美術展に裸婦像などを発表。51年横浜に転居。53年渡米、翌年パリへ。ラスコーなどの洞窟壁画に触れ、絵画の根源を問う中で抽象へ向かう。55年に帰国後も内外の展覧会に参加、62年のヴェネツィア・ビエンナーレ日本館に女性美術家では初めて選出される。70年代には四大元素をモチーフに抽象表現を探索した。2015年没。



江見絹子制作風景 1962年頃
写真提供: 荻野安奈



江見絹子《空間の祝祭》1963年 個人蔵



荻野アンナ(おぎの・あんな)氏 プロフィール

1956年神奈川県横浜市生まれ。慶應義塾大学文学部卒。83年より3年間ソルボンヌ大学に留学、ラブレール研究で博士号取得。89年慶應義塾大学大学院博士課程修了。以後2022年まで同大で教鞭をとり、現在名誉教授。1991年「背負い水」で第105回芥川賞、2002年『ホラ吹きアンリの冒険』で第53回読売文学賞、08年『蟹と彼と私』で第19回伊藤整文学賞を受賞。他の著書に『カンス川』『老婦人マリアンヌ鈴木の部屋』など。2024年より神奈川近代文学館館長。

© インクループ

彼女たち、それぞれの応答と挑戦